

# 令和7年度事業計画書

社会福祉法人 仁摩福社会

## 目 次

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 基本理念・基本方針・経営方針                   | 1  |
| I. 法人の基本理念                       | 1  |
| II. 法人の基本方針                      | 1  |
| III. 経営方針                        | 1  |
| IV. 事業計画                         | 2  |
| 法人本部                             | 2  |
| 特別養護老人ホームしおさい（併設）短期入所生活介護事業所しおさい | 7  |
| 特別養護老人ホームしおさい新館                  | 10 |
| 短期入所生活介護事業所しおさい新館                | 13 |
| 通所介護事業所しおさい                      | 15 |
| 居宅介護支援事業所しおさい                    | 17 |
| 訪問介護事業所しおさい                      | 19 |
| デイサービスセンターむつみ苑                   | 21 |
| 大田市高齢者生活福祉センター                   | 24 |
| 小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ               | 25 |
| 小規模多機能型居宅介護事業所えがお                | 28 |
| 仁摩保育園                            | 31 |
| 仁摩児童クラブひまわり                      | 34 |

# 社会福祉法人 仁摩福祉会

## I. 基本理念

- 一 個人の尊厳を尊重
- 一 地域福祉の増進

## II. 基本方針

- 一 公正、公平な運営
- 一 健全で活力ある経営
- 一 利用者主体のサービス提供
- 一 職員資質の向上

## III. 経営方針

毎年各地で発生する災害、未曾有の物価高騰、少子高齢化・人口減少社会の進行など、非常に厳しい経営環境のなか、私たち社会福祉法人は、地域における福祉サービスを安定的に提供し、利用者・地域住民の期待に応える使命があります。

一方、2040年に向けて、生産年齢人口が本格的に減少することが見込まれるなか、医療・福祉改革プラン（厚労省：「2040年を展望した社会保証・働き方改革本部」）では、福祉サービスの改革による「生産性の向上」が求められています。生産性向上に取り組むことにより、より良いケアの提供や、今まで以上に働き甲斐を感じられる職場づくり、人材確保・定着に繋げることが肝要となっています。

また、保育を取り巻く状況は、少子化の影響により、大田市内の保育園の多くが定員割れを起こし、休園や利用定員の削減を余儀なくされている現状があります。

こうした状況を踏まえ、今年度は、人口減少や少子高齢化が進む大田市において、地域の福祉ニーズに応じたサービスを提供するため、次の事項を重点施策として取り組むこととします。

- 一 地域の実情・利用者等の必要性に合わせ、行政や関係機関との連携・協働を図り、既存の制度では対応できない公益的な取り組みを推進します。
- 二 介護現場の生産性の向上を図るため、介護テクノロジーの活用、情報の共有化、業務改善に取り組むとともに、介護業界のイメージアップによる人材確保・定着に努めます。
- 三 保育施設が担うべき社会的役割や期待に応えるため、保護者や地域と連携し、子ども達の成長を支え育てていくとともに、保育サービスの質の向上に努めます。
- 四 地域の福祉ニーズに応じた事業体制の構築を図るため、専門部署を立ち上げ、事業の多機能化に取り組みます。
- 五 職員の心身の健康を実現するため、健康を考えるきっかけづくりの提供や健康づくりの支援策を推進するとともに、財務規律の確立に取り組みます。

## IV. 事業計画

### 法人本部

令和7年度は、第5期中期事業計画（令和6年度から令和8年度）の2年次として、公益的な取り組みの推進、介護現場の生産性向上と人材確保、事業の多機能化、健康経営の推進と財務規律の確立を重点実施事項として取り組みます。

#### 【重点実施事項】

##### 1. 地域における公益的な取り組みの推進

- (1) 大田市社会福祉協議会が支援する「通いの場」や「地域食堂」に参画し、法人の福祉資源を活用した地域貢献活動に取り組みます。
- (2) 市内の学校や行政・関係機関が主催する福祉セミナー・フォーラム等に対し、要請に応じて職員を講師、助言者として派遣します。

##### 2. 介護現場の生産性の向上と福祉人材の確保・定着

- (1) 生産性向上委員会において、介護現場の課題分析、利用者の安全確保、介護サービスの質の向上、職員の負担軽減の方策を検討し、介護現場の生産性の向上に取り組みます。
- (2) 介護業界のイメージアップを図るため、介護職場紹介マンガ（令和6年度制作：支え合いが生む笑顔の輪）を活用した広報活動を展開し、人材の確保・定着に努めます。

##### 3. 地域の福祉ニーズに応じた事業の多機能化と高齢者生活福祉センターの活用

- (1) 新たな事業展開として、事業多機能化対策室を立ち上げ、医療ニーズの高い看護小規模多機能型居宅介護事業及び訪問看護事業の開設に向けて取り組みます。
- (2) 高齢者生活福祉センターの業務委託契約の終了（令和7年9月末）に伴い、センター施設を利用し、既存の社会福祉事業の活用を図ります。

##### 4. 健康経営の推進と財務規律の確立

- (1) 職員の健康管理を経営的視点で考え、戦略的に実践するため、2026年の健康経営優良法人（大規模法人部門）の認定取得に向けて取り組みます。
- (2) 法人の事業運営を法令、定款等に従って計画的かつ効率的に行うとともに、短期・中期的な視点からの事業計画と資金計画を立て、健全な財務規律を確立します。

## 5. 固定資産の取得計画

- ① しおさい外部改修工事（しおさい）
- ② サーバーの更新（しおさい）
- ③ 電話交換機の更新（しおさい）
- ④ 空調設備更新工事（しおさい）
- ⑤ 公用車の更新（ダイサービスセンターむつみ苑）

### 【理事会・監査・委員会等・研修計画】

#### 1. 理事会・評議員会の開催

- (1) 理事会の開催・・・年12回開催
- (2) 評議員会の開催・・・年4回開催
- (3) 理事協議会の開催・・・随時開催

#### 2. 監査の実施

- (1) 記帳監査・・・外部委託機関（会計事務所）による、サービス区分の月次試算表についての監査。（毎月）
- (2) 内部監査
  - ① 内部経理監査・・・担当者2名による、全事業所を対象とした会計諸帳簿、契約書その他の書類についての確認。（年1回：5月中旬実施）
  - ② 内部業務監査・・・施設長・事務長による、業務の健全性・適切性に関する事項についての確認（年1回：11月中旬実施）
  - ③ 決算監事監査・・・監事による決算報告に関する事項及び上期現預金実査。  
（年2回：決算監査5月中旬、現・預金実査10月実施）

#### 3. 委員会等の開催

##### (1) 経営推進会議

管理職により、月2回以上経営に関する協議及び情報の交換を行う。

##### (2) リーダー会議

各事業所のリーダーにより、年6回、諸課題の検討及び情報の交換を行う。但し、必要に応じて経営推進会議との合同会議を開催する。

##### (3) その他の委員会

- ① 納涼祭実行委員会（随時）
- ② 防火管理委員会（3カ月に1回）
- ③ 安全衛生委員会（月1回）
- ④ 広報委員会（随時）
- ⑤ 研修委員会（月1回）

⑥ 風とおしの良い職場づくり委員会（随時）

#### 4. 役員研修の実施

- ① 社会福祉法人経営者としての必要な知識の修得（2月）
- ② 役員人権研修（11月）
- ③ 社会福祉法人における監事監査機能の向上（1月）

#### 5. 職員研修の実施

- ① 全職員を対象とした研修
- ② 事業所内での職務を通じての研修
- ③ 職務を離れての外部研修（オンライン研修含む）
- ④ 自己啓発援助研修

（研修計画）

| 月  | 研修名  | 対象者   |
|----|--|---|
| 4月 | 令和7年度キックオフ大会<br>新入社員研修講座   | 全職員<br>令和7年新卒入組者  |
| 5月 | 人事マネジメント研修<br>福祉職員キャリアパス生涯研修（チームリーダー）<br>組織で備える介護のカスタマーハラスメント<br>管理職のコミュニケーション術          | 経営者・管理職員<br>主任・リーダー等の指導的職員<br>介護職員<br>管理職                           |
| 6月 | 人権研修<br>主任介護支援専門員更新研修  | 全職員<br>主任介護支援専門員研修了者  |
| 7月 | 福祉職員キャリアパス生涯研修（中堅職員）<br>認知症介護実践研修（実践リーダー研修）<br>保育士キャリアアップ研修（幼児教育）<br>認知症の方に対する介護技術       | 経験年数3年以上<br>経験年数5年以上、実践者<br>研修修了後1年以上<br>経験年数3年以上<br>介護職員           |
| 8月 | 福祉職員キャリアパス生涯研修（初任者）<br>権利擁護推進員養成研修<br>主任介護支援専門員研修<br>保育士キャリアアップ研修（障がい児保育）<br>災害時の介護現場の対応 | 経験年数3年以内<br>リーダー・介護職員<br>介護支援専門員専門研修<br>I・II修了者<br>経験年数3年以上<br>介護職員 |

| 月   | 研修名   | 対象者  |
|-----|---|--|
| 9月  | リスクマネジメント研修<br>福祉職員キャリアパス生涯研修（管理職員）<br>中堅職員スキルアップ研修<br>中堅職員スキルアップ研修Ⅱ<br>子育て支援センター担当者研修<br>H・C・R（福祉機器展示会）<br>認知症の理解と認知症チームケア<br>労務管理研修<br>保育士キャリアアップ研修（保育実践） | 全職員<br>管理者<br>経験年数3年以上<br>スキルアップ研修Ⅰ修了者<br>主任・担当者<br>管理者・リーダー<br>介護職員<br>管理者<br>新任保育士 |
| 10月 | チームリーダースキルアップ研修Ⅰ<br>福祉サービス苦情解決研修会<br>新任保育士・保育教諭研修   | 主任・リーダー<br>苦情解決責任者、第三者委員<br>新任保育士  |
| 11月 | 保育士キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）<br>ハラスメント防止研修<br>認知症介護実践研修（実践者研修）<br>介護福祉士模擬試験<br>メンタルヘルス研修（一般職コース）<br>会計実務研修（入門コース）<br>会計実務研修（初級コース）                               | 経験年数3年以上<br>全職員<br>経験年数2年以上<br>受験者<br>一般職員<br>会計担当者（新任職員）<br>会計担当者（3年未満）             |
| 12月 | チームリーダースキルアップ研修Ⅱ<br>リスクマネジメント研修（一般職コース）<br>リスクマネジメント研修（管理者コース）<br>メンタルヘルス研修（管理者コース）<br>会計実務研修（中級コース）<br>会計実務研修（上級コース）                                       | 主任・リーダー<br>一般職員<br>管理者<br>管理者・主任<br>会計実務担当者、管理者<br>会計責任者                             |
| 1月  | コンプライアンス研修<br>介護支援専門員実務研修<br>介護支援専門員更新研修（兼）再研修<br>介護事故トラブルを防ぐポイント   | 全職員<br>介護支援専門員合格者<br>実務未経験者<br>管理者   |
| 2月  | 大田市児童虐待防止研修<br>虐待防止・身体拘束ゼロ研修<br>人権・権利擁護研修<br>介護現場のハラスメントゼロ  | 保育士・放課後児童支援員<br>介護職員<br>介護職員<br>リーダー、管理職   |
| 3月  | 介護保険施設（事業所）集団指導<br>怒りとの上手な付き合い方   | 管理者・リーダー<br>介護職員   |

| 月      | 研修名   | 対象者  |
|--------|---|--|
| eラーニング | 保育士キャリアアップ研修（食育・アレルギー対応）<br>保育士キャリアアップ研修（乳児保育）<br>保育士キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）<br>保育士キャリアアップ研修（マネジメント）<br>介護支援専門員実務研修<br>介護支援専門員専門研修Ⅰ（兼）更新研修<br>介護支援専門員専門研修Ⅱ（兼）更新研修<br>認知症介護基礎研修<br>デジタル中核人材養成研修 | 経験年数 3 年以上<br>経験年数 3 年以上<br>経験年数 3 年以上<br>経験年数 7 年以上有効期間満了する者<br>実務就業後 6 か月以上<br>実務就業後 1 年以上<br>実務就業後 3 年以上<br>介護職員（無資格者）<br>主任・リーダー |
| 随時     | 大田市介護サービス事業者協議会研修<br>大田市保育研究会<br>新入研修<br>資格取得勉強会  | 介護事業所職員<br>保育士<br>新規入職者<br>介護福祉士・介護支援専門員受験者  |

## 特別養護老人ホームしおさい（併設）短期入所生活介護事業所しおさい

人口減少の影響で職員の確保が難しい状況です。介護の質と量の維持のため、業務の ICT 化、ロボット化に取り組みます。

また、大田市内の施設では稼働率、平均要介護度の低下がみられ、当施設でも申し込みが減少し、多床室希望が増加しています。当施設の強みである、「プライバシーが確保できる多床室」を地域に積極的にアピールしていきます。

### 【重点実施事項】

#### 1. サービスの質の向上

- (1) 入所者が家族と過ごす時間を確保するため、家族等の入館基準を緩和検討します。
- (2) 寝たきり予防のため、生活リハビリの実施量を増やします。
- (3) 協力医療機関との連携をさらに向上させるため、協定内容を見直します。
- (4) 入所者体調不良時の早期回復を支援するため、必要に応じて大田市立病院の入院（軽症）患者受け入れ制度（特養対象）を活用します。
- (5) 少人数の職員でも入浴介助サービスを提供するため、入浴支援分野の介護ロボットの導入について検討します。
- (6) 多床室での生活について、パンフレットを作成し配布します。

#### 2. 職員の資質向上

- (1) 職員 1 名での介助可能範囲を広げるため、移乗用のリフト及びロボットの技量習得を推進します。
- (2) 入所者の危険行動への予測力を高めるため、危険予知訓練を行います。
- (3) 国の推奨する介護プロフェッショナルキャリア段位制度のレベル 2-②認定取得（1 名）に取り組みます。
- (4) 今後求められる介護テクノロジーを活用した生産性向上に対応するため、厚生労働省の「デジタル中核人材養成研修」に職員 2 名を参加させます。

#### 3. 地域貢献・地域交流

- (1) 在宅介護者等の支援のため、施設見学の機会を設けます。
- (2) ボランティアの受け入れを再開します。
- (3) 地元中・高校生、専門学校等の職場体験、介護実習を受入れます。
- (4) 地域で開催される研修等の依頼がある際は、講師を派遣します。

#### 4. 感染症対策及び防災対策

- (1) 防災訓練、感染症対応訓練を各年 2 回実施します。

(2) 災害時 BCP (業務継続計画)、感染症 BCP の見直しを行います。

#### 5. 行事・訓練

| 月   | 行 事 | 訓 練    |      |         |
|-----|-----|--------|------|---------|
| 4月  | 仁万祭 |        |      |         |
| 5月  | 感謝祭 |        |      |         |
| 6月  |     | 消防総合訓練 |      | 感染症対応訓練 |
| 7月  | 七夕祭 |        | 防災訓練 |         |
| 8月  | 納涼祭 |        |      |         |
| 9月  | 敬老会 | 消防総合訓練 |      |         |
| 10月 |     |        |      |         |
| 11月 |     |        |      | 感染症対応訓練 |
| 12月 |     |        | 防災訓練 |         |
| 1月  | 年始会 |        |      |         |

※ 消防訓練に加えて毎月部分訓練及び防災教育を行う (消防計画より)

#### 6. 教育研修

|        |            |     |
|--------|------------|-----|
| 法定研修   | 身体拘束適正化研修  | 年2回 |
|        | 防災研修       | 年1回 |
|        | 感染症予防研修    | 年2回 |
|        | 介護事故予防研修   | 年2回 |
|        | 口腔衛生指導     | 年2回 |
|        | 虐待防止研修     | 年2回 |
|        | 褥瘡予防研修     | 年1回 |
|        | ハラスメント研修   | 年1回 |
|        | 生産性向上推進研修  | 年1回 |
| 加算要件研修 | 認知症ケア研修    | 年2回 |
|        | 看取り介護研修    | 年1回 |
| 独自研修   | 個別援助計画作成研修 | 年3回 |
|        | ケアプラン点検    | 年3回 |

#### 7. サービス提供量

##### (1) 特別養護老人ホーム

① 稼働率 98.5% (特養98.3% 空床利用0.2%)

② 平均要介護度 4.4

③ 加算

(単位：回)

|    | 加 算           | 対象者   | 見込み算定数  |
|----|---------------|-------|---------|
| 1  | 日常生活継続支援加算Ⅰ   | 30名/日 | 10,764回 |
| 2  | 看護体制加算Ⅰロ      |       |         |
| 3  | 看護体制加算Ⅱロ      |       |         |
| 4  | 夜勤職員配置加算Ⅰロ    |       |         |
| 5  | 個別機能訓練加算Ⅰ     |       |         |
| 6  | 栄養マネジメント強化加算  |       |         |
| 7  | 個別機能訓練加算Ⅱ     | 30名/月 | 360回    |
| 8  | 褥瘡マネジメント加算Ⅰ   |       |         |
| 9  | 排せつ支援加算Ⅰ      |       |         |
| 10 | 科学的介護推進体制加算Ⅰ  |       |         |
| 11 | 生産性向上推進体制加算Ⅱ  |       |         |
| 12 | 認知症専門ケア加算Ⅰ    | 25名/日 | 8,970回  |
| 13 | 外泊時費用         | 3名/年  | 18回     |
| 14 | 初期加算          | 15名/年 | 450回    |
| 15 | 安全対策体制加算      | 15名/年 | 15回     |
| 16 | 看取り介護加算Ⅰ(15日) | 5名/年  | 75回     |
| 17 | 看取り介護加算Ⅱ(27日) | 10名/年 | 270回    |
| 18 | 看取り介護加算Ⅲ(2日)  | 15名/年 | 30回     |
| 19 | 看取り介護加算Ⅳ(1日)  | 15名/年 | 15回     |

(2) 併設短期入所サービス計画

① 稼働率 99.0%

② 平均要介護度 2.8

③ 加算

(単位：回)

|   | 加 算             | 見込み算定数 |
|---|-----------------|--------|
| 1 | 機能訓練指導体制加算      | 723回   |
| 2 | 夜勤職員配置加算Ⅰ       |        |
| 3 | サービス提供体制強化加算Ⅱ   |        |
| 4 | 基本部分減算および長期利用減算 |        |
| 5 | 生産性向上推進体制加算Ⅱ    | 24回    |
| 6 | 緊急短期入所受入加算      | 5回     |

## 特別養護老人ホームしおさい新館

入居申し込み数の減少、多床室ニーズの増加、大田市内のユニット施設増加等によって、これまで以上に施設介護の内容が吟味される状況になっています。地域密着型施設の特徴を活かした生活援助ができるよう、介護目標等を見直します。

### 【重点実施事項】

#### 1. サービスの質の向上

- (1) 入居者が家族と過ごす時間を確保するため、原則居室での直接面会を実施します。
- (2) 地域活動への参加を支援します。
- (3) 外出、外泊希望への対応や余暇時間充実のため、ケアプラン立案内容等を見直します。
- (4) 入居者に合った行事实施のため、行事をユニット単位で実施します。

#### 2. 職員の資質向上

- (1) 利用者の危険行動への予測力を高めるため、危険予知訓練を実施します。
- (2) 国の推奨する介護プロフェッショナルキャリア段位制度レベル2-②認定取得（1名）に取り組みます。
- (3) 介護職員の個別ケア実践力を高めるため、個別援助計画作成研修会を開催します。
- (4) 個別ケア計画力を高めるため、法人居宅介護支援事業所主任介護支援専門員によるケアプラン点検、指導を受けます（3回）。
- (5) 今後求められる介護テクノロジーを活用した生産性向上に対応するため、厚生労働省の「デジタル中核人材養成研修」に職員2名を参加させます。

#### 3. 地域貢献・地域交流

- (1) 在宅介護者等の支援のため、施設見学の機会を設けます。
- (2) ボランティアの受け入れを再開します。
- (3) 地元中・高校生、専門学校等の職場体験、介護実習を受入れます。
- (4) 地域で開催される研修等の依頼がある際は、講師を派遣します。

#### 4. 感染症対策及び防災対策

- (1) 防災訓練、感染症対応訓練を各年2回実施します。
- (2) 災害時BCP（業務継続計画）、感染症BCPの見直しを行います。

## 5. 運営推進会議

| 月   | 主な内容                      |
|-----|---------------------------|
| 4月  | 利用者の状況、サービス提供の状況、事業計画説明   |
| 6月  | 利用者の状況、サービス提供の状況、事業計画進捗状況 |
| 8月  | 利用者の状況、サービス提供の状況、事業計画進捗状況 |
| 10月 | 利用者の状況、サービス提供の状況、事業計画進捗状況 |
| 12月 | 利用者の状況、サービス提供の状況、アンケート収集  |
| 2月  | 利用者の状況、サービス提供の状況、アンケート結果  |

## 6. 行事・訓練

| 月   | 行事  | 訓練     |      |         |
|-----|-----|--------|------|---------|
| 4月  | 仁万祭 |        |      |         |
| 5月  | 感謝祭 |        |      |         |
| 6月  |     | 消防総合訓練 |      | 感染症対応訓練 |
| 7月  | 七夕祭 |        | 防災訓練 |         |
| 8月  | 納涼祭 |        |      |         |
| 9月  | 敬老会 | 消防総合訓練 |      |         |
| 10月 |     |        |      |         |
| 11月 |     |        |      | 感染症対応訓練 |
| 12月 |     |        | 防災訓練 |         |
| 1月  | 年始会 |        |      |         |

※ 消防訓練に加えて毎月部分訓練及び防災教育を行う（消防計画より）

## 7. 教育研修

|      |           |     |
|------|-----------|-----|
| 法定研修 | 身体拘束適正化研修 | 年2回 |
|      | 防災研修      | 年1回 |
|      | 感染症予防研修   | 年2回 |
|      | 介護事故予防研修  | 年2回 |
|      | 口腔衛生指導    | 年2回 |
|      | 虐待防止研修    | 年2回 |
|      | 褥瘡予防研修    | 年1回 |
|      | ハラスメント研修  | 年1回 |
|      | 生産性向上推進研修 | 年1回 |

|        |            |     |
|--------|------------|-----|
| 加算要件研修 | 認知症ケア研修    | 年2回 |
|        | 看取り介護研修    | 年1回 |
| 独自研修   | 個別援助計画作成研修 | 年3回 |
|        | ケアプラン点検    | 年3回 |

## 8. サービス提供量

① 稼働率 98.0% (特養97.5% 空床利用0.5%)

② 平均要介護度 4.4

③ 加算

(単位：回)

|    | 加算           | 対象者   | 見込み算定数 |
|----|--------------|-------|--------|
| 1  | 日常生活継続支援加算Ⅱ  | 20名/日 | 7,118回 |
| 2  | 看護体制加算Ⅰイ     |       |        |
| 3  | 看護体制加算Ⅱイ     |       |        |
| 4  | 夜勤職員配置加算Ⅱイ   |       |        |
| 5  | 個別機能訓練加算Ⅰ    |       |        |
| 6  | 栄養マネジメント強化加算 |       |        |
| 7  | 個別機能訓練加算Ⅱ    | 20名/月 | 240回   |
| 8  | 褥瘡マネジメント加算Ⅰ  |       |        |
| 9  | 排せつ支援加算Ⅰ     |       |        |
| 10 | 科学的介護推進体制加算Ⅰ |       |        |
| 11 | 生産性向上推進体制加算Ⅱ |       |        |
| 12 | 認知症専門ケア加算Ⅰ   | 19名/日 | 6,762回 |
| 13 | 外泊時費用        | 2名/年  | 12回    |
| 14 | 初期加算         | 12名/年 | 210回   |
| 15 | 安全対策体制加算     | 12名/年 | 12回    |
| 16 | 看取り介護加算Ⅰ     | 6名/年  | 90回    |
| 17 | 看取り介護加算Ⅱ     | 12名/年 | 240回   |
| 18 | 看取り介護加算Ⅲ     | 12名/年 | 24回    |
| 19 | 看取り介護加算Ⅳ     | 12名/年 | 12回    |

## 短期入所生活介護事業所しおさい新館

地域環境の変化等により、利用希望が減少傾向となっています。この影響を受けて、利用が反復化、長期化する利用者が増えており、事業所が生活の中心となりやすい状況です。

このような状況に対応するため、関係機関と連携し、生活全般に必要な支援が提供できるよう取り組みます。

### 【重点実施事項】

#### 1. サービスの質の向上

- (1) 利用者一人ひとりの嗜好を把握し、それに応じた趣味活動等の機会づくりを提供します。
- (2) 利用者が家族と過ごす時間が持てるよう、面会方法を見直します。
- (3) 長期利用者の外出機会づくりや日用品購入、諸手続き等の支援を行います。

#### 2. 職員の資質向上

- (1) 利用者の危険行動への予測力を高めるため、危険予知訓練を実施します。
- (2) 国の推奨する介護プロフェッショナルキャリア段位制度レベル2-②認定取得（1名）に取り組みます。
- (3) 介護職員の個別ケア実践力を高めるため、個別援助計画作成研修会を開催します。

#### 3. 地域交流・地域貢献

- (1) 利用を検討する家族等の支援のため、事業所見学の機会を設けます。
- (2) ボランティアの受け入れを再開します。
- (3) 地元中・高校生、専門学校等の職場体験、介護実習を受入れます。
- (4) 地域で開催される研修等の依頼がある際は、講師を派遣します。

#### 4. 感染症対策及び防災対策

- (1) 防災訓練、感染症対応訓練を各年2回実施します。
- (2) 災害時 BCP（業務継続計画）、感染症 BCP の見直しを行います。

#### 5. 行事

| 月  | 行 事 | 訓 練    |  |         |
|----|-----|--------|--|---------|
| 4月 | 仁万祭 |        |  |         |
| 5月 |     |        |  |         |
| 6月 | 感謝祭 | 消防総合訓練 |  | 感染症対応訓練 |

| 月   | 行 事 | 訓 練    |      |         |
|-----|-----|--------|------|---------|
| 7月  |     |        | 防災訓練 |         |
| 8月  |     |        |      |         |
| 9月  | 敬老会 | 消防総合訓練 |      |         |
| 10月 |     |        |      |         |
| 11月 |     |        |      | 感染症対応訓練 |
| 12月 |     |        | 防災訓練 |         |
| 1月  | 年始会 |        |      |         |

※ 消防訓練に加えて毎月部分訓練及び防災教育を行う（消防計画より）

#### 6. サービス提供量

- ① 稼働率                    98.5%
- ② 平均要介護度            3.2
- ③ 加算

（単位：回）

|   | 加 算             | 見込み算定数  |
|---|-----------------|---------|
| 1 | 機能訓練指導体制加算      | 2,873 回 |
| 2 | 夜勤職員配置加算 I      |         |
| 3 | サービス提供体制強化加算 I  |         |
| 4 | 生産性向上推進体制加算 II  | 348 回   |
| 5 | 基本部分減算および長期利用減算 | 1,460 回 |

## 通所介護事業所しおさい

生産年齢人口の減少に伴う福祉人材不足に対応するため、ICT や AI を活用した生産性の向上に取り組みます。

また、利用者の通所介護事業所での活動を自宅での生活に連動性を持たすため、職員のアセスメント力を高めます。同時に、アセスメントで得た情報を介護支援専門員や関係機関と共有し、介護支援専門員等と信頼関係を構築します。

地域への公益的な取り組みとして、各関係機関を通し、利用者の活動を PR していきます。

### 【重点実施事項】

#### 1. サービスの質の向上

- (1) 趣味活動を充実することで利用者の楽しみを増やし、生活の質の向上を図ります。
- (2) 家族へのサポートとして、家族と介護支援専門員を交えた交流会を開催します。
- (3) ICT を活用し、間接業務の効率化を行い利用者 と 接する時間を増やします。
- (4) 業務手順を見直し、業務の標準化を行います。

#### 2. リスクマネジメントの取組強化

- (1) 感染症対策のため、定期的な研修と訓練を実施します。
- (2) BCP に沿って委員会や研修会の開催と訓練を行います。
- (3) 身体拘束適正化や虐待防止のため、定期的な委員会の開催と研修を行います。
- (4) ハラスメント防止のため、職員と管理者との定期的な面談の機会を設けます。

#### 3. 職員の資質向上

- (1) 国の推奨する介護プロフェッショナルキャリア段位制度のレベル2-①認定取得(1名)に取り組みます。
- (2) 事業所内会議や研修、外部研修に参加し認知症の知識を高めます。
- (3) Eラーニングシステムを活用し、職員の個別研修計画を作成します。計画に沿った研修受講を促します。
- (4) 利用者の自宅での生活をより詳細に把握するため、職員のアセスメント力を向上させる研修を行います。
- (5) 個々のコミュニケーション力向上のため、研修を実施します。

#### 4. 地域における公益的な取組の推進

- (1) 利用者と一緒に、小・中学生の下校時の見守り活動を行います。
- (2) 3月に開催される福祉展に、利用者の作品を出展します。しおさい内での展示や、そ

の他展示する機会を設け、事業所の活動を発信します。

(3) 各町のまちづくりセンター等に利用者の作品を寄贈し、地域の方々に使用してもらうことで事業所の活動を発信します。

#### 5. 行事

| 月  | 行 事       | 月   | 行 事        |
|----|-----------|-----|------------|
| 4月 | お花見       | 10月 | 運動会        |
| 5月 | 母の日 おやつ作り | 11月 | 作品展        |
| 6月 | 父の日 紫陽花会  | 12月 | クリスマス会     |
| 7月 | 七夕会       | 1月  | 新年会・初詣     |
| 8月 | 納涼祭       | 2月  | 節分祭        |
| 9月 | 敬老会       | 3月  | ひな祭り 福祉展参加 |

#### 6. 認知症対応型通所介護サービス計画

|      |     |        |      |
|------|-----|--------|------|
| 登録人数 | 20人 | 平均要介護度 | 2.0  |
| 稼働率  | 73% | 一日平均   | 8.8名 |

| 月    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 営業日数 | 22  | 22  | 21  | 23  | 21  | 22  | 23  | 20  | 23  | 20  | 20  | 22  | 259   |
| 延べ人数 | 192 | 192 | 183 | 201 | 183 | 192 | 201 | 175 | 201 | 175 | 175 | 192 | 2,262 |

#### 加算算定（延べ人数）

| 月                  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 個別機能訓練<br>加算Ⅰ      | 146 | 146 | 139 | 152 | 139 | 146 | 152 | 133 | 152 | 133 | 133 | 146 | 1,717 |
| 口腔・栄養スク<br>リーニング加算 | 20  |     |     |     |     |     | 20  |     |     |     |     |     | 40    |
| サービス提供体制<br>加算Ⅰ    | 192 | 192 | 183 | 201 | 183 | 192 | 201 | 175 | 201 | 175 | 175 | 192 | 2,262 |
| 科学的介護推進体制加算        | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 240   |
| 入浴介助加算Ⅰ            | 128 | 128 | 122 | 134 | 122 | 128 | 134 | 117 | 134 | 117 | 117 | 128 | 1,509 |

## 居宅介護支援事業所しおさい

近年、在宅では軽度要介護状態の高齢者割合が増えています。それに伴い、ニーズとして一層の介護予防の取り組みが挙げられます。要介護状態の重度化を防いで望む在宅生活の維持ができるよう、ケアマネジメントの質の向上を図ります。

### 【重点実施事項】

1. 利用者の意向や地域のニーズに対応した質の高いケアマネジメントの推進
  - (1) 介護予防、認知症ケア、ターミナルケア等、利用者のニーズに即したケアマネジメントを実施できるよう、法人内外の介護サービス事業者や関係事業所と協働して事例検討や研修を行い、対応力の向上を図ります。
  - (2) サービス提供地域の拡大と介護予防支援の直接契約を行います。
  - (3) ケアマネジメント業務の効率化と職員の負担軽減を目的に、AI 議事録の活用を図ります。
  - (4) 第三者評価を受審し、サービスの質の向上を図ります。
2. リスクへの対応力強化
  - (1) BCP（業務継続計画）の実行性を更に高めるため、訓練と見直しを行います。
  - (2) 虐待の発生を防止するための委員会の開催と研修を行います。
3. 地域貢献活動
  - (1) 高齢者福祉に関する地域ニーズに即したテーマの出前講座を、法人内事業所と連携して実施します。
4. 居宅介護（予防・総合事業）支援計画
  - (1) 要介護（年間件数）

|                 |       |                            |       |
|-----------------|-------|----------------------------|-------|
| 要介護 1、2         | 1,584 | 退院・退所加算                    | 54    |
| 要介護 3、4、5       | 576   | 入院時情報連携加算                  | 42    |
| 初回加算            | 72    | 特定事業所加算Ⅱ                   | 2,160 |
| ターミナルケアマネジメント加算 | 15    | 中山間地域等に居住する者への<br>サービス提供加算 | 60    |
| 通院時情報連携加算       | 24    |                            |       |

(2) 要支援・総合事業対象者（年間件数）

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 要支援・総合事業               | 960 |
| 初回加算                   | 24  |
| 委託連携加算                 | 9   |
| 中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算 | 12  |

## 訪問介護事業所しおさい

近年、訪問介護事業の利用減少が顕著になっています。利用減少の原因を調査し、広範囲に広報活動を行い、知名度向上に努めます。

また、利用者が地域での生活を続けられるよう、サービス内容の見直しを行います。

### 【重点実施事項】

#### 1. サービスの質の向上

- (1) 利用者の申し送り事項について現場からも確認できるよう、ICTを活用します。
- (2) 訪問介護サービスの提供体制が不十分な地域（大田市条件不利地域）に効率よく訪問できる体制をとります。
- (3) チームケアを推進するため、チーム内での情報の共有と連携に努めます。また、サービス内容を点検し、必要なサービスについて介護支援専門員に提案します。
- (4) サービスの質の向上のため、第三者評価を受審します。

#### 2. リスクマネジメントの取組強化

- (1) 感染症対策のため、マニュアルの確認や定期的な研修・訓練を行います。
- (2) BCPに沿って、委員会や研修会の開催、訓練を実施します。
- (3) 身体拘束適正化や虐待防止のため、定期的な委員会の開催と研修を行います。
- (4) ハラスメント防止のため、職員アンケートを行います。ハラスメント報告書が提出された場合は、委員会にて対策を立てます。

#### 3. 職員の資質向上

- (1) 月1回事業所内会議、研修を行い、外部研修やオンライン研修に参加します。研修などで学びを得た事は、事業所内研修で共有します。
- (2) 国の推奨する介護プロフェッショナルキャリア段位制度のレベル2-②認定取得（2名）に取り組みます。
- (3) 利用者との信頼関係を築くため、基本的な接遇を身に着けるための学習を行います。
- (4) 職員個々が不得意に思う分野の研修等を受講し、訪問介護技術向上を目指します。
- (5) 職員全体のアセスメント力を高めるため、研修を行います。

#### 4. 地域における公益的な取組の推進

- (1) 介護実習生を受け入れます。
- (2) SNSを活用し、訪問介護事業所の広報活動を行います。
- (3) 訪問介護事業所のPR広告を作成し、地域や関係機関に発信します。

## 5. 訪問サービス計画

### 【介護保険サービス】

| 算定項目 | 身 体   | 身体生活  | 生 活 | 緊急時加算 | 初回加算 | 生活機能向上連携加算 |
|------|-------|-------|-----|-------|------|------------|
| 請求件数 | 1,900 | 1,950 | 860 | 0     | 60   | 0          |

### 【大田市総合事業】

(介護予防訪問介護相当サービス)

| 算定項目 | 訪独サ 11 | 訪独サ 12 | 訪独サ 13 | 初回加算 |
|------|--------|--------|--------|------|
| 請求件数 | 260    | 65     | 15     | 20   |

### 【障害福祉サービス】

| 算定項目 | 居宅介護  | 同行援護 | 初回加算 |
|------|-------|------|------|
| 請求件数 | 1,150 | 165  | 5    |

### 【養育支援訪問事業】

| 算定項目 | 家事支援 | 養育支援 |
|------|------|------|
| 請求件数 | 1    | 1    |

### 【移動支援事業】

| 算定項目 | 移動支援 |
|------|------|
| 請求件数 | 70   |

## デイサービスセンターむつみ苑

利用者が長く自宅で過ごせるよう、介護の質を向上させ、専門職や関係機関と連携し包括的な支援を行います。

また、利用者が地域から孤立せず、家族が安心して利用者を送り出せる環境作りに取り組みます。

### 【重点実施事項】

#### 1. サービスの質の向上

- (1) 機能訓練プログラムを十分に活用し心身機能を維持することで、転倒防止、在宅生活の維持に努めます。
- (2) 自宅での生活に即した個別機能訓練を提供し、利用者が自分でできることを増やすことで、自信の回復や家族の負担軽減を図ります。また、利用者のやる気を引き出す仕組みづくりに取り組みます。
- (3) 季節ごとの外出や地域行事に参加することで、認知機能の維持や地域と繋がることを支援します。
- (4) 利用者の心身の状態を注意深く観察し、かかりつけ医や介護支援専門員、関係するサービス事業所などと連携して健康維持に努めます。
- (5) 独居や高齢者夫婦世帯の利用者の生活を把握し、役立つリストを作成・提供して在宅生活を支援します。
- (6) 第三者評価を受審し、サービスの質の向上を図ります。

#### 2. リスク対策の強化

- (1) 感染症・食中毒の予防・まん延防止に関する指針に従い、感染症防止対策委員会を6ヶ月に1回、研修・訓練を6ヶ月に1回実施し、感染症・食中毒の予防・まん延防止に努めます。
- (2) BCP（業務継続計画）を基に、委員会を1回、災害発生を想定した研修・訓練を6ヶ月に1回実施し、利用者の安全と業務の継続に努めます。
- (3) 虐待防止に関する指針に従い、委員会を1回、研修を6ヶ月に1回実施し、高齢者虐待の防止と利用者の安全・安心を守ります。

#### 3. 職員資質の向上

- (1) 認知症研修の受講を促し、認知症理解と適切な対応及び安心できる環境を提供できる能力を養います。
- (2) 入浴、食事介助、歩行介助などの危険リスクの高い介助について定期的な研修を行い、技術の向上と事故防止に努めます。

(3) 国の推奨する介護プロフェッショナルキャリア段位制度のレベル2-②認定取得(1名)に取り組みます。

(4) 事業所ミーティングを月に1回程度開催し、チーム力を高め、知識や技術向上の機会とします。

#### 4. 地域貢献、地域連携

(1) 居宅介護支援事業所が行う出前講座に、講師を派遣します。

(2) 運営推進会議を年2回開催し、家族や地域の意見を求め、事業の運営や改善に繋がります。

(3) ボランティアや介護実習生を受け入れます。

※新型コロナウイルス等の感染症の発生状況により変更あり。

#### 5. 行事計画

| 月  | 行事名   | 月   | 行事名     |
|----|-------|-----|---------|
| 4月 | お花見会  | 10月 | 運動会     |
| 5月 | つつじ祭り | 11月 | 収穫祭(料理) |
| 6月 | あじさい会 | 12月 | クリスマス会  |
| 7月 | 七夕会   | 1月  | 新春会・初詣  |
| 8月 | 納涼祭   | 2月  | 節分祭     |
| 9月 | 敬老会   | 3月  | ひな祭り会   |

※誕生日には、お祝い企画をします。

#### 6. 通所介護サービス

|        |       |     |
|--------|-------|-----|
| 登録人数   | 総合事業  | 23人 |
|        | 要介護   | 73人 |
| 平均要介護度 | 1.2   |     |
| 一日平均   | 28.0人 |     |
| 稼働率    | 80.0% |     |

## 利用者数（延べ人数）

（単位：件）

| 月         | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 営業日数      | 29  | 28  | 30  | 30  | 30  | 28  | 30  | 28  | 30  | 27  | 26  | 30  | 346   |
| 事業対象者・要支援 | 170 | 169 | 171 | 171 | 171 | 169 | 171 | 169 | 171 | 168 | 167 | 171 | 2,038 |
| 要介護       | 642 | 615 | 669 | 669 | 669 | 615 | 669 | 615 | 669 | 588 | 561 | 669 | 7,650 |
| 計         | 812 | 784 | 840 | 840 | 840 | 784 | 840 | 784 | 840 | 756 | 728 | 840 | 9,688 |

## 【事業対象者・要支援】

## 科学的介護推進体制加算

（単位：件）

| 月           | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 科学的介護推進体制加算 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23  | 23  | 23  | 23 | 23 | 23 | 276 |

## 【要介護】

## 個別機能訓練加算（延べ人数）

（単位：件）

| 月               | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 個別機能訓練加算<br>（イ） | 48  | 46  | 50  | 50  | 50  | 46  | 50  | 46  | 50  | 44  | 42  | 50  | 572   |
| 個別機能訓練加算<br>（ロ） | 434 | 415 | 452 | 452 | 452 | 415 | 452 | 415 | 452 | 397 | 379 | 452 | 5,167 |
| 計               | 482 | 461 | 502 | 502 | 502 | 461 | 502 | 461 | 502 | 441 | 421 | 502 | 5,739 |

## 入浴介助加算（I）

（単位：件）

| 月      | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 入浴介助加算 | 577 | 553 | 602 | 602 | 602 | 553 | 602 | 553 | 602 | 529 | 504 | 602 | 6,881 |

## 科学的介護推進体制加算

（単位：件）

| 月           | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 科学的介護推進体制加算 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73  | 73  | 73  | 73 | 73 | 73 | 876 |

## 大田市高齢者生活福祉センター

居住、食事などを短期間提供することで、地域に暮らす独居などの高齢者が一時的な不安や困難で在宅生活を諦めずに継続できるよう支援します。

なお、大田市との本委託事業については、9月末をもって終了となります。

### 【重点実施事項】

#### 1. サービスの質の向上

- (1) 軽体操やミニレクリエーション、施設周囲の散歩を促し、筋力や認知機能の維持・向上に努め在宅復帰に繋がります。
- (2) 季節飾りづくりや地域行事への参加を促します。

#### 2. 感染症対策の強化

- (1) 利用者や家族、職員の健康管理と来所者の健康チェック、消毒を行います。
- (2) デイサービスセンターむつみ苑と合同で、感染症対応訓練を実施します。

#### 3. 職員資質の向上

- (1) 高齢者の疾患や認知症について、勉強会を開催します。
- (2) デイサービスセンターむつみ苑と合同で、事業所ミーティングを実施します。

#### 4. 防災対策及び緊急時の対応

- (1) 夜間の火災発生を想定し、避難訓練や消火訓練を実施します。

#### 5. 行事計画

| 月  | 行 事               |
|----|-------------------|
| 4月 | お花見、お花見昼食         |
| 5月 | 季節飾り作り            |
| 6月 | 季節飾り作り            |
| 7月 | 七夕、笹飾り・短冊作り       |
| 8月 | 納涼祭、デイサービスとの交流    |
| 9月 | 敬老のお祝い、デイサービスとの交流 |

#### 6. 生活支援サービス

| 月    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 合計    |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 延べ人数 | 330 | 341 | 330 | 341 | 341 | 330 | 2,013 |

## 小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

見守りロボットの導入により、サービスの質と生産性向上に取り組めます。

また、地域の催し物へ積極的に参加することで、利用者・職員と地域との繋がりをさらに強化します。

### 【重点実施事項】

#### 1. サービスの質の向上と生産性向上

- (1) 見守りロボットを活用し、利用者の睡眠の質を確保するとともに、覚醒のタイミングでのケアの実施等、サービスの質の向上、介護負担の軽減に努めます。また、宿泊時の睡眠状態を家族に報告することで、家族との信頼関係の構築に努めます。
- (2) 利用者個人と向き合う時間の確保として、ハンドマッサージ、フットマッサージを行いながら、その方だけへの特別な時間を過ごしていただきます。
- (3) 利用者の誕生日に合わせて、利用者と担当職員が中心となり、利用者の希望に沿うように外出を企画します。
- (4) プランターや畑を整備し、畑作りの得意な利用者と野菜を作り、秋には収穫祭を行います。
- (5) 利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するため、委員会を定期的で開催し、生産性向上に取り組めます。

#### 2. リスク対策

- (1) 防災訓練・火災訓練には地域住民の参加を促し、平時から顔が見える関係を築きます。
- (2) BCP（業務継続計画）の研修・訓練を計画に沿って実施し、必要時にはBCPの見直し・改善を行います。
- (3) 高齢者虐待防止委員会を開催し、研修を年2回行います。
- (4) 身体的拘束適正化委員会にて、研修を行い身体的拘束の適正化を推進します。

#### 3. 職員の資質の向上

- (1) 小規模多機能型居宅介護事業所えがおとサービス向上に向け、合同研修や必要な情報共有・連携に努めます。
- (2) 管理者と職員との面接の時間を定期的に設け、職員の声を聞き取り、業務改善に活かします。
- (3) 国の推奨する介護プロフェッショナルキャリア段位制度のレベル2-①（1名）、2-②（1名）の認定取得に取り組めます。
- (4) 介護支援専門員の質の向上を目指し、地域ケア会議や大田市介護サービス事業者協議会の小規模多機能部会の事例検討に参加し、専門性を高めます。

#### 4. 地域連携・地域貢献

- (1) 子どもから大人まで、住民同士の交流の場（地域食堂「まんまんちゃん」）に利用者がお迎えする立場として参加し、地域の方との交流を図ります。
- (2) 納涼祭や文化祭には地域の方や家族に声を掛け、ほほえみの活動を知っていただく機会を設けます。
- (3) 地元の中学生や高校生、県内の専門学生の職場体験や介護実習の受け入れを行います。
- (4) 地区民生委員と連携を行い、利用者の自宅での生活を支えます。
- (5) 利用者がやりがいとリハビリを兼ねて、新聞紙で買い物袋を作製し、地域食堂やイベント等で配付します。

#### 5. サービス提供計画

|        |       |    |                   |
|--------|-------|----|-------------------|
| 平均登録者数 | 27.0名 | 通い | 395人/月（平均13名/日）   |
| 登録率    | 93.1% | 泊り | 152人/月（平均5.0名/日）  |
| 平均要介護度 | 1.9   | 訪問 | 350回/月（平均11.5名/日） |

#### 6. 行事計画

| 月   | 開催行事                         | 主な地域行事・活動                           |
|-----|------------------------------|-------------------------------------|
| 4月  | お花見会                         | 地域食堂<br>大国 石見八幡宮例大祭<br>仁万 神楽岡八幡宮例大祭 |
| 5月  | 遠足<br>消防総合訓練                 | 地域食堂                                |
| 6月  | あじさい会                        | 地域食堂<br>大田市一斉清掃活動                   |
| 7月  | 七夕会                          | 地域食堂                                |
| 8月  | ほほえみ 納涼祭<br>防災研修             | 地域食堂                                |
| 9月  | 敬老会                          | 地域食堂<br>各地区 敬老会                     |
| 10月 | 運動会<br>防災教育・消防部分訓練<br>防災総合訓練 | 地域食堂<br>宅野 宅野八幡宮祭<br>温泉津 巖島神社 例大祭   |

| 月   | 開催行事          | 主な地域行事・活動                 |
|-----|---------------|---------------------------|
| 11月 | 収穫祭<br>消防総合訓練 | 地域食堂<br>各地区 文化祭<br>邇摩高フェア |
| 12月 | クリスマス会<br>忘年会 | 地域食堂                      |
| 1月  | 新年会           | 地域食堂                      |
| 2月  | 節分祭           | 地域食堂                      |
| 3月  | ひなまつり会        | 地域食堂<br>大田市福祉展            |

※ その他、利用者誕生月には担当職員が中心となり、お出掛け等を企画します。

※ 日常的に散歩やレクを企画します。

## 小規模多機能型居宅介護事業所えがお

小規模多機能型居宅介護事業所えがおでは、一人ひとりの「したいことの実現」や「以前の暮らし」を尊重し、それをかなえるための個別ケアを実施します。

資の高いサービスを提供するために、サービス評価を定期的に行い、全職員が共通の目標を持って取り組みます。

また、地域との繋がりを深めるために、地域を巻き込んだ行事を企画します。

### 【重点実施事項】

#### 1. サービスの質の向上

- (1) サービスの質を継続的に向上するため、定期的に自己評価を実施し、特定の課題や改善点に対する評価を行います。
- (2) 生活の質を高めるため、AIによる口腔分析システムと歩行分析システムを運用し、評価と個別対応を行います。
- (3) サービスの質の向上を図るため、家族参加型のイベントと懇談会を通じて、家族とのコミュニケーションを深めます。
- (4) 現場の業務改善とサービスの質の向上を図るため、生産性向上委員会を開催し、業務の洗い出しからAI導入の検証を行います。  
また、見守り支援システムの勉強会を実施します。

#### 2. リスク対策

- (1) 火災や災害発生時に迅速かつ適切に対応できるよう、消防訓練及び防災教育を計画・実施し、安全確保に努めます。
- (2) 事故を防ぎ、安全な環境を提供するため、事故防止委員会を定期的で開催します。
- (3) 感染症や災害時にBCP（業務継続計画）を実行できるよう、周知、訓練、研修を行い、定期的に見直します。
- (4) 利用者の尊厳を守り、安全な生活環境を提供するため、高齢者虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を開催し、定期的な研修を実施します。

#### 3. 職員の資質向上

- (1) 職員の専門知識とスキル向上のため、小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみと勉強会を実施します。
- (2) 職員のスキルアップとモチベーション向上に努めるため、個別ケアに必要な専門的なアプローチの知識と技術を習得します。
- (3) 職員のチーム力を強化するため、1on1ミーティングで得た情報を活用し、職員全体で具体的な目標を設定します。

- (4) 国の推奨する介護プロフェッショナルキャリア段位制度のレベル2-①(1名)、2-②(1名)の認定取得に取り組みます。

#### 4. 地域連携・地域貢献・地域参加

- (1) 地域で開催される研修の依頼がある際には、職員を派遣します。また、地域ケア会議や大田市介護サービス事業者協議会の小規模多機能部会に参加し、地域の課題解決に取り組めます。
- (2) 利用者と一緒に地域行事や、高齢者サロンの地域活動に参加し、地域との連携強化に努めます。
- (3) 利用者の社会参加と「えがお」を身近に感じてもらうため、小学生の下校時の見守り活動に参加します
- (4) 「えがお」と民生委員が連携シートを活用して、地域との連携を目指します。
- (5) 利用者とその家族、地域住民と一緒に参加できるイベントを企画・実施します。

#### 5. サービス提供計画

|        |       |    |                 |
|--------|-------|----|-----------------|
| 平均登録者数 | 27.0名 | 通い | 395人/月(平均13名/日) |
| 稼働率    | 93.1% | 泊り | 243人/月(平均8名/日)  |
| 平均要介護度 | 2.9   | 訪問 | 390回/月(平均13名/日) |

#### 6. 行事計画

| 月   | 開催行事             | 地域行事              |
|-----|------------------|-------------------|
| 4月  | 花見会<br>防災教育・部分訓練 | 長久さくら祭り           |
| 5月  | 遠足<br>消防総合訓練     |                   |
| 6月  | あじさい会            |                   |
| 7月  | 七夕会              |                   |
| 8月  | 納涼祭              | 家族イベント            |
| 9月  | 敬老会              | 彼岸市               |
| 10月 | 運動会<br>防災教育・部分訓練 | 野井神社例大祭<br>大田町八幡宮 |
| 11月 | 紅葉狩り<br>防災総合訓練   | 各地域文化祭            |

| 月   | 開催行事   | 地域行事                   |
|-----|--------|------------------------|
| 12月 | クリスマス会 |                        |
| 1月  | 新年会    | 五十猛町グロ                 |
| 2月  | 節分祭    | 物部神社節分祭                |
| 3月  | ひなまつり会 | 大田福祉展<br>大森梅まつり<br>彼岸市 |

\* 日常的に散歩やレク企画 \* 毎月誕生日会の開催

## 仁摩保育園

少子化の影響により、園児数の減少に歯止めがかからず、令和6年度には定員80名に変更しました。今後も減少が見込まれますが、引き続き保護者ニーズや意向を反映した保育所運営に努め、安心して預けられる利用しやすい保育園を目指します。

また、子育て支援センターは、魅力的な活動内容を新たに検討し、利用者の拡大や保育園入園に繋がります。

### 【重点実施事項】

#### 1. 保育サービスの向上

- (1) 園児の言語発達や科学的思考を育てるため、絵本・幼年童話や科学絵本・図鑑などの図書環境の充実を図ります。また、園児が手にとりやすい絵本コーナーづくりに取り組みます。
- (2) ホームページを活用し、行事や普段の保育の様子や、仁摩保育園が行っている言語に関する研修等の情報、保育園運営推進会議の内容などを保護者や地域に発信します。
- (3) 保育園版BCP(業務継続計画)を基に訓練を行い、検証しながら見直しをします。
- (4) 令和5年度に園庭整備として築山を造りました。園児の心身の発達を促し魅力的な園庭を目指すため、引き続き園庭整備について検討していきます。
- (5) 調理設備が経年劣化による故障が多く、修繕や買い替えが必要となってきたため、新たに、スチームコンベクションオーブンを購入し、安定した給食提供を行います。

#### 2. 職員資質の向上

- (1) 園内研修(言語と脳)を継続し、絵本を通して言語のよりよい発達を促し、職員の意識統一と資質の向上につなげます。
- (2) 公開保育と年3回程度の講師を招いての研修を行います。また、大田市内の保育所・幼稚園での公開保育に積極的に参加し、子ども主体の保育を取り入れている市外の園にも見学に行き、保育内容や保育環境の参考にしていきます。
- (3) 全職員が児童虐待や不適切保育についての研修を定期的に行い、保育の振り返りを常に行います。
- (4) 契約職員・パート職員が受講しやすいよう、リモート参加の研修を積極的に取り入れ、職員全体の資質向上に努めます。
- (5) 保育士キャリアアップ研修は、まだ受けていない分野をそれぞれ1分野受講できるよう目指します。

#### 3. 地域交流

- (1) コロナ禍以来行っていない高齢者施設の訪問を再開し、高齢者と触れ合う機会を設け、

親しみや思いやりの気持ちを育みます。

- (2) 仁摩小学校と連携をとって校庭や校内を訪れる機会を持ち、給食体験など、小学校への親しみや期待をもって1年生にスムーズに移行できるよう取り組みます。
- (3) 仁摩図書館を定期的に活用して、地域の施設への愛着を深めます。

#### 4. 子育て支援センター

- (1) 「ベビーマッサージ」「親子3B体操」など、人気のある活動の回数を増やし、新たな内容を検討して利用者を広げていきます。
- (2) 担当者は、支援センター以外の活動（乳児健診等）にも積極的に参加して、支援センターのPRに努めます。
- (3) 子育て家庭が気軽に利用し、悩みや相談なども話せる場所づくりに努め、地域の拠点として保護者支援を行います。

#### 5. 行事計画

| 月   | 保育園  | 子育て支援センター                          |
|-----|--|------------------------------------|
| 4月  | 入園進級式<br>保護者会総会<br>交通安全教室                                  | *保育士による「絵本読み聞かせ」<br>こいのぼりを作ろう      |
| 5月  | 親子遠足(年長組)  | *育児教室「ベビーマッサージ」                    |
| 6月  | 歯科検診<br>畑作り(芋苗植え他)<br>整備作業(プール設置等)<br>避難訓練指導               | *育児教室「お母さんのからだと子どもの健康」<br>七夕飾りを作ろう |
| 7月  | プール開き<br>年長児お泊り保育  | 水遊び、プール遊び<br>七夕会に参加しよう             |
| 8月  | 夏祭り<br>防犯訓練  | 水遊び、プール遊び                          |
| 9月  | 健康診断<br>敬老会(各地区)<br>整備作業(プール解体等)<br>運営推進会議①<br>シニアクラブ世代間交流 | 作って遊ぼう<br>敬老の日のプレゼント作り             |
| 10月 | 園内運動会(幼児組)<br>収穫祭(稲刈り、芋ほり)<br>各地区運動会参加(仁万・大国)              | *育児教室「親子3B体操」                      |

| 月   | 保育園  | 子育て支援センター                                 |
|-----|--|---|
| 11月 | 就学前健康診断<br>避難訓練指導<br>各地区文化祭（仁万・大国・馬路・宅野）<br>幼児組リズム参観   | *薬剤師さんの話                                  |
| 12月 | 乳児組保育参観<br>お餅つき会<br>クリスマス会<br>陶芸教室   | もちつき会・クリスマス会に参加しよう                        |
| 1月  | お正月遊び<br>年長児雪遊び  | お正月遊びをしよう<br>豆まきのマス作り<br>*育児教室「ベビーマッサージ」  |
| 2月  | 節分<br>幼児組発表会<br>運営推進会議②  | *親子クッキングと栄養士さんの話<br>豆まきに参加しよう<br>ひな人形を作ろう |
| 3月  | ひな祭り会<br>お別れ遠足<br>お別れ会<br>入園前健康診断<br>卒園式   | ひな祭り会に参加しよう                               |
| 毎月  | 身体測定 誕生会 避難訓練<br>クッキング<br>茶道教室（年長児）  | 身体測定<br>試食会                               |
| その他 | 体操教室（6月・8月・11月・1月）<br>1日保育士（年間を通して）<br>しおさい等訪問<br>ボランティア<br>親子読書<br>神楽教室（年3回）<br>和太鼓教室（隔月）<br>地域の祭（各自で）<br>中学生・高校生実習受け入れ<br>高校生・短大生ボランティア<br>お弁当の日 | 育児相談 電話相談                                 |

## 仁摩児童クラブひまわり

放課後児童クラブ「仁摩児童クラブひまわり」は、小学1年生から6年生までの児童を受け入れ、今年度も保護者ニーズを調査し、保護者支援を行います。

### 【重点実施事項】

#### 1. 保育サービスの向上

- (1) 保護者より意見・要望のあった長期休暇中の昼食提供や、お盆・年末の開所について、今後、検討していきます。
- (2) 新規に支援員・補助員の確保を目指し、児童に安定して質の高い保育を提供できるよう努めます。

#### 2. 職員資質の向上

- (1) 児童虐待について、補助員を含む全職員が研修を行います。
- (2) 研修会や説明会に参加し、現状を把握し、スキルアップに努めます。
- (3) 月1回職員ミーティングを行い、現状や課題を話し合い、共通理解を深めます。

#### 3. 行事計画

| 月   | 行 事                     | 保護者関係           |
|-----|-------------------------|-----------------|
| 4月  | 開所式<br>新入生歓迎お花見昼食会      |                 |
| 5月  |                         |                 |
| 6月  |                         |                 |
| 7月  | 海遊び<br>クッキング            | 保護者会            |
| 8月  | 夏のお楽しみ会<br>海遊び<br>クッキング |                 |
| 9月  |                         |                 |
| 10月 |                         | 新1年生説明会（就学前健診時） |
| 11月 |                         |                 |
| 12月 | 冬のお楽しみ会                 |                 |
| 1月  | クッキング                   |                 |
| 2月  |                         |                 |
| 3月  | お別れ遠足<br>クッキング          | 新規利用者説明会        |

| 月   | 行 事                      | 保護者関係        |
|-----|--------------------------|--------------|
| 毎月  | 避難訓練                     | おたより「ひまわりっこ」 |
| その他 | まちづくりセンター活動<br>図書館行事への参加 |              |

笑顔あふれる、地域とともに 仁摩福祉会